

薩摩義士の偉業を後世に



4月10日(木)に池辺公民館にて、町薩摩義士顕彰会主催の薩摩義士春季慰霊祭が開催されました。今年は天候不良のため池辺公民館での開催となりましたが、多くの来賓や地域の関係者が参加し、薩摩義士たちの冥福を祈るための神事や池辺小学校児童と養老薩摩義士踊り保存会による踊りが奉納されました。

樋渡聡会長は祭文奏上の中で「私たちは今日ある町土、そして生活の礎を築いてくださった薩摩義士の皆さまに改めて感謝申し上げるとともに、その偉業と崇高な精神を永く後世に語り継いでいく所存です」と述べ、宝暦治水の偉業が成し遂げられてから今年で270年を迎えましたが、これから先も後世へと感謝の気持ちを伝えていく決意を改めました。

地域防災力の強化に向け、町防災士会発足



4月12日(土)に町役場において養老町防災士会設立総会が開催され、防災士の活動の場を広げることを目的として、町在住の防災士有志によって町防災士会が設立されました。防災士資格を保有する40人により発足し、今後、自助や共助に重きを置いて地域防災力の向上のために取り組んでいきます。

川地憲元町長は「防災に関する知識と技能を修得された防災士の皆さまには、地域での活動を通じて町民一人ひとりの防災意識の高揚や防災対策の推進・啓発のために取り組んでいただきたいです」と話し、村上秀彦会長は「組織として防災士同士が連携することで、地域住民を巻き込んだ防災・減災活動に繋がっていきたいです」と意気込みました。

歯と口腔でみる健康なまちづくり



3月16日(日)に町民会館で「第3回 地域住民が主体となった健康づくりフォーラムin養老」が開催され、住民が主体となって進めている健康づくりについて情報を共有しました。

今回は歯と口腔の健康をテーマとして、町保健センターによる町民の健康状態や健康課題についての報告、養老歯科医師会と上多度地域自治町民会議による健康増進の取り組み事例の紹介、「歯と口腔の健康を保つために～むし歯から嚥下まで～」と題した西美濃厚生病院 歯科口腔外科部長の杉山貴敏先生による講演がありました。参加者は、全身の健康に大きく影響を与える口の健康を保っていくために、なにが必要なのかをメモを取りながら聴いていました。

地域を守る決意 受け継がれる消防団としての心得



4月6日(日)に町総合体育館において令和7年度養老町消防団入退団式が開催されました。退団者への感謝状の授与、新入団員をはじめとした団員への辞令の交付が行われ、伊藤勝則消防団長から養老町消防団員として消防活動を遂行していくにあたって必要な心構えについて訓示がありました。

また、入退団式の後には、消防操法の講習会と新入団員を対象とした消防団の活動内容や位置付けなどに関する講習会も行われ、地域の消防・防災の要となり、地域を守る消防団員としての心得について学びました。